

2年目へのエール

初任者としての一年間、お疲れ様でした。いろいろあったでしょうが、一年間乗り切ったことに安堵しているのではないのでしょうか。

と共に、次年度はこうしようとか、期するものがあると思います。2年目を迎えるにあたり、いくつか留意点や、私からの要望を挙げてみたいと思います。

(第1号「初任者の心得」の内容と重なることは避けてふれてみます。)

1 授業の改善に終わりはない

(1) 授業準備は手を抜かない。教師にとっては昨年と同じ内容であっても、生徒にとっては初めてなのだから。

(これは学校行事も同じです。昨年と同じ行事であっても、子どもは違うのだから)

(2) 授業内評価用のノートを活用。

(発表、積極性等、通知表の評価項目を意識して毎時間記録できるように準備する)

(3) 授業は生徒と共に作る。生徒の活躍の場のある授業を。主役は生徒です。

(4) 授業が終わってもすぐ帰らずに、何気なく教室に留まる。

(生徒が声をかけやすい雰囲気を作る)

(5) 一流の授業をめざしてください。

(授業力を磨き続け、プロ意識を持ち続けてください。)

(6) 他人の授業を積極的に見てください。同僚には、優れた教師がたくさんいます。

他教科であっても、通じるものはあります。こんなチャンスを逃す手はありません。

● 私は、「美しい授業」をやりたいと常々思っています。導入に始まり、展開、終末と、50分間の中で完結し、達成感があり、生徒が満足する授業。途中のトラブルも想定内とし、慌てること無く流れを修正し、終末まで完結させる。奇をてらうわけではなく、基本に忠実で、「美しい授業」が私の理想です。

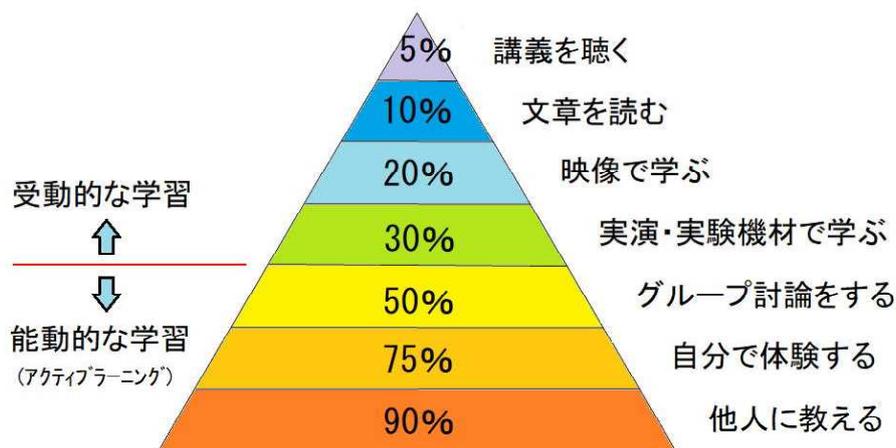
その意味では、TVの「ドクターX」の手術シーンの中で流れるナレーションに共感を覚えています。

外科医の手術力は最初のトレーニングで決まる。どれほどの熱意を持って手術を学ぶか、どれほど上手い外科医の手術を見るか。川の水が流れるように基本手技を反復し、美しい最終術野を作る。それが私の考える理想の手術だ。そして一番大事なことは、どんなに厳しいオペでも決して患者を見捨てないこと。

(7) 近年登場したアクティブラーニング（能動的な学習）の元になったラーニングピラミッドを紹介しておきます。これによると、教師主導の講義のみだと5%の学習定着率という結果で、下に行くほど定着率が良いというピラミッド構造で表現されています。

しかしこれはアメリカの大学の授業改善のための研究資料であって、日本の小中学校では、体験的・参加型学習はすでに実践されているので、目新しいことではないのですが、子どもは何を望んでいるかが分かります。

ラーニングピラミッド(学習の定着率)



2 生徒指導

(1) 挨拶は顔を見て。

「おはようございます。」と生徒や職員と挨拶を交わしたとき、顔を見ているでしょうか。廊下ですれ違ったとき、形式的にしていらないだろうか。ちゃんと顔を見ていれば変化に気づきます。髪を切ったことにも気づくことでしょう。

- 孫を車のチャイルドシートに乗せてベルトを縛っているときに話しかけられたのですが、よそ見をしながら返事をしていたら、沈黙があったので、ふと顔を見たら、じっと私を見ている目と出会ってドキッとしたことがあります。
「ああ、この子は目を見て話を聞いてほしかったんだな。」と反省をしました。

(2) 中学生は発達段階が異なるので、接し方も変わってくる。

- 中1 … すなおなので、踏み込んだ指導ができる。
- 中2 … 反発心が強いので、距離感や時間が必要。
- 中3 … 自立し、人間的な成長があるので、やっていておもしろい。

(3) 生徒へのペナルティーは同類で。他に転嫁しない。

掃除をさぼったら掃除で取り返す、腕立て伏せなどに転嫁しない。

3 学級経営

- (1) 写真はいっぱい撮りましょう。子ども達の成長の証しです。行事の時や、学級での何気ない一コマ、貴重な財産です。あとで親がほしがることにも。
- (2) 学級通信はぜひ取り組んでみてください。
- (3) 進路指導用副読本の「中学生活と進路」はいい本です。特活の中でぜひ意図的に使ってください。年度末になって生徒に持ち帰るよう指示したとき、「先生、全然使ってなかったね。」と言われることがあります。教科書と違って有料でもあり、使わないのはもったいない。

4 その他

- (1) 2年目からは中堅です。今はどんどん若い人が入ってきて、世代交代が進んでいます。もう学年の主力として引っ張って行ってほしいのです。
誰かがやらなければならない場面があったら、迷わず手を挙げてください。
- (2) 学年主任の動きをよく見ていきましょう。いずれ20代で学年主任の時代が来ます。
- (3) 2年目までは緊張感があるが、3年目からは腐敗すると言われています。
(慣れてくると悪い面が出てくるので、誰かにチェックしてもらってください。)
- (4) 時間は有限なので、何かをやるなら何かを捨てる。
(やらねばならないことは多いけれど、優先順位をつけ、最後は捨てる覚悟で。)
- (5) 教師に埋没しないために、他の楽しみを意図的に作っていきましょう。
(週に1度はレストの日を作り、自分のために使しましょう。部活もレストです。)

📍 教師人生、山あり谷あり。(私の回顧)

20代の頃は、学校が楽しくて、24時間いてもいいと思っていた。

30歳では、ある程度経験を積んだおかげで、自信がついていった。

35歳の頃は、高慢な態度で保護者と衝突、自分の至らなさを痛感。

40代は、充実期。仕事の楽しさを知る。

50代は、出る杭になれと言われ、出る杭になったら打たれた。上の怖さを知る。

後に「出すぎた杭は打たれない」という言葉を知るも、もう遅い。

60代、退職をしてから、大事なものが見えてきた。

次は君たちの時代だ

教師2年目ががんばれー！ エールを送ります。